

～防災対策研究協議会・第2回市民作業部会～  
各段階での「やるべきこと」と「課題」のポイント一覧表

所属班	沿岸部	エリア班		
段階	今のあなたの立場でやるべきことは、何だと思えますか？		左の欄に書いた「やるべきこと」を実現するうえで、課題となっていることは何ですか？	
	誰の	意見	誰の	意見
災害が起きる前に… (普段の対策)	PTA関係者 大澤 康樹	連絡系統の作成（不通時の対応） 危険箇所の把握 避難場所の確認 家庭内で避難訓練について話す 学校・自治会・消防との連携	PTA関係者 大澤 康樹	地域の人と面識がない 会合を開く 主要メンバーを覚える 避難場所の周知 無関心な保護者
	幼稚園の先生 藤田 弘	施設の安全点検 避難訓練の実施 危険箇所の把握 標高の把握	幼稚園の先生 藤田 弘	道が狭い
	保育園の先生 青野 倫子	防災対応組織の整備 職員各々が防災意識をもつ 年間避難訓練計画の作成 避難所の周知 園児引き渡し場所の伝達 時間帯・状況に応じた訓練 備品・家具の固定、ガラスの飛散防止 避難経路の確認（複数） 園長不在時の指揮系統確立	保育園の先生 青野 倫子	移動後の備品・家具の固定忘れ 役割分担の遂行困難（慌てて） 時間がない 園舎の倒壊 耐震補強の補助金 屋根の改修
	消防団員 伊藤 義照	危険箇所の把握 災害規模の把握 避難訓練の実施 避難場所の把握	消防団員 伊藤 義照	自分の命は自分で守る自覚
	民生児童委員 永井 伸司	要援護者の把握 心構えを訪問時に話し合う	民生児童委員 永井 伸司	高齢者は防災意識が軽薄 無関心・あきらめ
	福祉施設担当者 越野 文枝	災害対策の職員研修 防災マニュアルの作成 避難訓練の実施 避難経路の整備 緊急連絡網の整備・確認 飲食物の備蓄 地域・家族の人の協力	福祉施設担当者 越野 文枝	災害教育を幅広く伝えたい 市の被害想定に対応していない 独自の避難場所（数箇所）必要 携帯電話の通信不可 夜間時に独自で避難対応できるか 施設が耐震基準に対応していない
	市職員 武田 邦克	市民への広報活動 備蓄品・非常持ち出し品の準備 安否確認方法（災害伝言ダイヤル1717等） 避難ルートの確認 家具等の転倒防止 津波対策・浸水対策	市職員 武田 邦克	市民の防災意識の低さ 市民の訓練への不参加 不参加の市民への広報活動の難しさ
	病院担当者 高木 弘太郎	現設備の把握 棚の転倒防止 食料の備蓄・医薬品の備蓄 マニュアルの整備 アクションカードの作成 呼出網による訓練	病院担当者 高木 弘太郎	対策準備の時間が取れない 部門との動機付けが難しい 女性スタッフの設備への関心の低さ
災害が起きたときに… (発災時)	PTA関係者 大澤 康樹	PTAによる見回り 安全誘導 情報収集 学校との連絡・協力（労務）	PTA関係者 大澤 康樹	情報の混乱 二次災害 業務の妨害
	幼稚園の先生 藤田 弘	園児・職員の安全確保	幼稚園の先生 藤田 弘	建物が古い
	保育園の先生 青野 倫子	園児の安全確保・避難 避難経路・避難所の安全確認 二次災害防止 人員点呼 安否確認 負傷者の応急手当	保育園の先生 青野 倫子	津波浸水 道路の混雑 対象者が乳幼児 簡易トイレの不備 保護者と音信不通 避難所選択の判断
	消防団員 伊藤 義照	住民を避難場所へ誘導 安全確保	消防団員 伊藤 義照	油断 安全の過信
	民生児童委員 永井 伸司	安否確認（訪問） 近所の無事な人と共助 家族の安否確認	民生児童委員 永井 伸司	自分自身・家族の被災状況 素人でどこまで動けるか 自己判断で良いのか
	福祉施設担当者 越野 文枝	震度5以上で被災ホームに集合 職員自身と利用者の安全確保 火災の予防 ケガ人の救護 避難経路の確保 安全な集合場所へ移動 自主避難 情報収集（携帯ラジオ等） 災害情報の収集	福祉施設担当者 越野 文枝	訓練を生かすことが可能か 被害状況把握の手段 搬送手順
	市職員 武田 邦克			
	病院担当者 高木 弘太郎	自分の安全を計る 周辺の人の安全を計る		
災害が起きた後に… (発災後)	PTA関係者 大澤 康樹	PTAによる見回り 子供たちの保護の協力（避難所での監視） 危険箇所の把握 資機材の調達 炊き出し等の協力 被害者の援助	PTA関係者 大澤 康樹	身勝手な行動 混乱 事故
	幼稚園の先生 藤田 弘	園児の引き渡し 園児の健康状態の把握	幼稚園の先生 藤田 弘	浸水の可能性 保護者の所在確認
	保育園の先生 青野 倫子	休園措置（園舎倒壊時） 人員点呼・安否確認 負傷者の確認と応急手当 保護者への連絡（掲示・電話等） 園児引き取りの記録 心のケア 園舎の損壊状況の把握	保育園の先生 青野 倫子	保護者への引渡しスムーズにできるか 園児の動揺・精神的ケア 職員の家庭状況 職員の精神状態 再建の余力・資金
	消防団員 伊藤 義照	住民の安否確認 被害箇所の確認	消防団員 伊藤 義照	自治会で住民の把握
	民生児童委員 永井 伸司	身内への連絡 行政・消防への援助依頼	民生児童委員 永井 伸司	どの部署へ依頼するのか担当行政を把握していない 遠方の身内では間に合わない
	福祉施設担当者 越野 文枝	被害状況の確認・行政への報告 負傷者や病人などの対応依頼 二次避難 備蓄物の使用可否確認 各施設との連携 生活支援 家族への協力依頼 ボランティアの受け入れ	福祉施設担当者 越野 文枝	市の対策の把握 日頃からの連携 地域のボランティア活動の把握
	市職員 武田 邦克	情報収集 活動部隊の状況把握		
	病院担当者 高木 弘太郎	被害状況の把握 異常個所の確認 被災者の確認	病院担当者 高木 弘太郎	連絡手段が途絶えた時の方法 業者依頼時の対応の遅延 復旧に時間がかかる 休日・夜間のスタッフの人数 非常時の集合基準がない